

第16回

グローバル感染症研究セミナー

2023年8月31日
16:00-17:00

参加登録はこちら

<https://forms.gle/UShXMLebnbzfZcKr8>



演者：宮原 敏 先生

産業医科大学医学部微生物学 助教

レプトスピラ感染症に対する国際共同研究の展開

レプトスピラ感染症は、*Leptospira*属細菌によって引き起こされる人獣共通感染症である。ヒトの感染例は熱帯地方でのアウトブレイクを始めとして世界中で報告があり、加えて幅広い伴侶動物、家畜、野生動物が保菌、感染を示す。1915年に福岡において*Leptospira interrogans*が病原体であることが証明されたが、未だ病態や病原因子については不明な点が多く、顧みられない熱帯病の状態が続いている。

演者は、研究者としての最初期を国際共同研究（SATREPSプロジェクト「レプトスピラ症の予防対策と診断技術の開発（相手国：フィリピン、2010年4月ー2015年3月）」）の中で過ごし、診断キットやワクチンの開発に向けた基礎的研究、選択培地の開発とフィリピン国内での疫学調査、病態メカニズムの研究に従事した。以降、グローバルな感染症研究に魅力を感じ、取り組んできた。

本セミナーではレプトスピラ感染症の現況を概説した後、SATREPSプロジェクトにおいて得られた成果について紹介する。さらに、現在進行中の国内外との共同研究について述べたい。

世話人 西園 晃

（医学部微生物学講座 教授、グローバル感染症研究センター長兼任）

セミナー問合せ先

大分大学グローバル感染症研究センター共同利用・共同研究係（5444）

TEL 097 (586) 5444 E-mail glocal@oita-u.ac.jp